鎌倉市 洪水ハザードマップ

滑川水系版（鎌倉地域）

普段から備え → **いざ災害時に** → **命を守る行動**

ハザードマップを活用して避難行動を考えよう！

地震　津波　洪水　内水　土砂災害　高潮

風水害時に取るべき行動

台風の接近、前線などの大雨

↓

避難が必要な状況

↓

避難が必要な状況が進展

↓

風水害の発生

↓

風水害
危険性の終息

※立退き避難（水平避難）と屋内安全確保（垂直避難）の判断は右の「避難の心得」をご覧ください。

テレビやインターネットなどで情報を確認！

気 気象情報　川 河川水位情報
土 土砂災害情報　避 避難情報

避難判断は自分で！
浸水が始まる前に避難を！
現在開設中の避難所を確認

避難情報の収集または自主避難

自宅待機が可能

自宅の外へ避難（立退き避難）

自宅内に待機（屋内安全確保）

必要性を感じたら避難

市の避難所
以下の避難所は状況に応じて開設します。
○避難所（ミニ防災拠点）
○補助避難所（予備避難所）

自宅で生活が可能

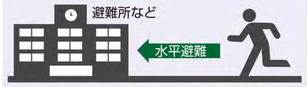
自宅へ

避難の心得

避難行動とは

避難行動には、自宅外の避難場所や友人・知人宅、旅館やホテルなど、安全な場所へ移動する「立退き避難（水平避難）」と、自宅の２階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保（垂直避難）」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

立退き避難（水平避難）



河川の近くや浸水深が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにいることが危険な場合は、避難所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難（水平避難）は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保（垂直避難）

屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まり２階へ移動するなど、屋内安全確保（垂直避難）をしましょう。

立退き避難の心得

逃げ遅れたら

建物の2階以上や、斜面と反対側の部屋に移動して、自分の身を守る！

- **浸水が始まる前に避難を！**
  浸水が始まると、水深が浅くても流れの速さによっては足をすくわれます。また、側溝やマンホール、水路などが確認できず転落するおそれがあります。
- **避難判断は自分で！**
  気象庁や市からの避難情報などの防災情報をもとに、自主的な避難行動を心がけましょう。
- **移動手段は徒歩で！**
  車は故障や渋滞、災害の状況によっては動かなくなるおそれがあります。

注意すべき事項

- **危険な箇所には近づかない！**
  河川付近、用水路、アンダーパスなど。

その他避難時の留意事項

- **避難時は動きやすい服装で！**
  特に靴は歩きやすい運動靴で。長靴は水が入るとかえって歩きにくくなります。
- **移動は二人以上で！**
  一人だといざという時に助け合えません。
- **夜間の避難は要注意！**
  夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。
- **非常持出品を準備して避難！**

家屋や家財の被害を軽減する方法

家屋の浸水被害を軽減する

家庭にある物を利用し、家屋への浸水を防ぎましょう。玄関などの出入口や、床下への浸水防止の対策を行いましょう。

出入口は長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。

生活用水の工夫

トイレや洗濯機などの排水口	風呂の貯水
水をいれたビニール袋をおいておくと排水口から逆流してくる泥水を防げます。	下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。

止水対策

土のうが無くても、ゴミ袋やプランター、ポリタンク、レジャーシートなどの身近なものを使って、家屋の浸水を防ぐことができます。

ごみ袋による簡易水のう	ポリタンクとレジャーシート	プランターとレジャーシート
ごみ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結します。	ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結します。	土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。

家財の浸水被害を軽減する

水に浸かってしまった家財は一瞬にしてゴミとなってしまいます。家財が浸水被害にあわないようあらかじめ高いところへ移動しましょう。

通帳・保険証・パスポートなどの重要書類

数日分の衣類

高価な家電製品

風水害時のわが家の避難行動（マイ・タイムライン）

家族でハザードマップを使い、避難所・避難経路等を確認し、「わが家の避難行動（マイ・タイムライン）」について話し合い、必要事項を記入・コピーして共有しましょう。

■わが家の連絡先、避難の際に必要な情報を記載しましょう。

名　前	電話番号	必要事項（常備薬等）

避難の際、支援してくれる人
名前:
電話:
住所:

必要項目に記載し、☑にチェックしましょう。

■ハザードマップを見て自宅周辺を確認

自宅は洪水浸水想定区域内にあるか　□ある　□ない
洪水浸水深は:　m　浸水継続時間は:　時間
自宅は内水氾濫浸水想定区域内にあるか　□ある　□ない
自宅は土砂災害警戒区域内（急傾斜地、土石流）にあるか　□ある　□ない
自宅は高潮浸水想定区域内にあるか　□ある　□ない
高潮浸水深は:　m　浸水継続時間は:　時間
自宅は洪水による家屋流失のおそれのある区域内にあるか　□ある　□ない
自宅付近に道路冠水箇所はあるか　□ある　□ない
自宅は高潮による家屋倒壊等氾濫想定区域内（氾濫流、越波）にあるか　□ある（□氾濫流　□越波）
□ない

■避難するタイミング、避難する場所　実際に避難するときどこへ避難するのか、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。

● 風水害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報を入手したらわが家は、
□自宅に待機し、状況に応じて垂直避難します。（※むやみに外出せず、情報収集に努める）
□ ＿＿＿＿＿＿ へ水平避難します。（避難所、親戚・知人宅など）　移動時間:
● 水平避難の途中で危険を感じたら、へ緊急的に垂直避難します。　移動時間:

※洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮は同時に発生する可能性がありますので、他のハザードマップも合わせて確認しておきましょう。

	鎌倉市の情報	（参考）気象庁等の情報
平常時		■台風情報（河川氾濫が想定される大規模な台風等） ■台風に関する気象情報
雨風が強くなる前	警戒レベル2	■大雨注意報 ■洪水注意報 ■氾濫注意情報 ■高潮注意報
避難行動を開始	警戒レベル3 ■高齢者等避難	■大雨警報 ■洪水警報 ■氾濫警戒情報 ■高潮警報に切り替える可能性が高い高潮注意報
避難行動を開始	警戒レベル4 ■避難指示	■氾濫危険情報 ■土砂災害警戒情報 ■高潮警報（または高潮特別警報）
	ここまでに避難を完了する！	
身の安全を確保すべき時期	警戒レベル5 ■緊急安全確保	■大雨特別警報 ■氾濫発生情報

被害を軽減するために、また避難するために必要なことをまとめましょう。
メモ
Point 「1階が浸水する場合、家財を2階以上に上げる。」「浸水被害を防ぐために土のうを用意する。」などをまとめましょう。

避難する際の注意点を家族で考えましょう。
メモ
Point 避難のタイミングは、早めに！逃げ遅れがないよう、空振りをおそれず早めの避難を心がけましょう。

もしも逃げ遅れたら…災害がすでに発生しています。命を守るための最善の行動をとる!!
外に避難することがかえって危険な場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で安全を確保してください！

鎌倉市防災・安全情報メール
市では、気象庁の発表情報や市の防災情報などを、携帯電話やパソコン等へ電子メールで配信するサービスを行っています。
【登録方法】左のQRコードからサイトへアクセスし、画面の指示に従って登録を行ってください。

鎌倉市 市民防災部 総合防災課
https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/
〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10
TEL0467-23-3000（代表）防災担当

作成 2023 年 3 月

風水害時の情報と行動の目安

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	状況	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）	キキクル（危険度分布）	高潮情報
警戒レベル5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）	災害切迫	高潮氾濫発生情報
＜警戒レベル４までに必ず避難！＞							
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	危険	高潮警報または高潮特別警報
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報	警戒（警報級）	高潮注意報 高潮警報に切り替える可能性が高い
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報	—	注意（注意報級）	高潮注意報
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	—	—		

※気象庁は、住民自らの避難の判断を下す際に参考となるよう気象情報に「警戒レベル○（3～5）相当」というように「相当」という表現を用いて発表しますが、市では、市内の状況を見極めて避難情報を発令するため警戒レベルと警戒レベル相当は必ずしも一致しません。

情報収集

各情報源から入手できる情報　気 気象情報　川 河川水位情報　土 土砂災害情報　避 避難情報

テレビ ラジオ	気 川 土 避 テレビ ケーブルテレビ（J：COM湘南・鎌倉）※dボタンを押すと情報を確認できます。	ラジオ 鎌倉エフエム放送（82.8MHz）
メール（携帯電話など）	気 川 土 避 登録必要 鎌倉市防災・安全情報メールサービス https://service.sugumail.com/kamakura/	【登録方法】左のQRコードからサイトへアクセスし、画面の指示に従って登録を行ってください。
	気 川 土 避 登録不要 携帯電話事業者緊急速報メール	携帯電話事業者により、気象庁、各省庁、地方公共団体等が配信する災害情報が携帯電話に自動的に配信されます。
インターネット	鎌倉市防災情報マップ・各種ハザードマップ・タイムライン https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/sougoubousai/hazardmap.html	
	気 川 土 避 鎌倉市ホームページ https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/	気 土 神奈川県土砂災害情報ポータル http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/
	気 川 土 気象庁ホームページ http://www.jma.go.jp/jma/index.html	川 国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/
防災行政用無線	気 避 緊急時の避難情報や気象情報、災害情報等の迅速な発信を行います。0120-24-0467（無料）（補完対策：消防テレホンサービス）防災行政用無線の放送内容を電話で確認できます。	

河川の水位情報

河川名（量水標名）	水防団待機水位 通報水位	氾濫注意水位 警戒水位	避難判断水位	氾濫危険水位
滑　川（大町橋）	1.60m	2.00m	2.00m	2.30m
神戸川（大津橋）	1.30m	1.40m	1.40m	1.70m
柏尾川（神鋼橋）	2.60m	3.60m	4.90m	5.60m

雨の降り方と雨量の目安

予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量（mm）	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
状　況	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

風水害時の避難施設

【拠点】 避難所（ミニ防災拠点）
風水害等の災害が発生するおそれがある場合など、住民等への危険が切迫した際に、早期の段階で開設する避難所で、市立の小・中学校を指定しています。

地　域	名　称	所在地
鎌倉	第一小学校	由比ガ浜 2-9-55
	第二小学校	二階堂 878
鎌倉	御成小学校	御成町 19-1
	第二中学校	西御門 1-7-1

【補助】 補助避難所（予備避難所）
必要に応じて市の判断で開設される避難所であり、国・県立及び私立の学校等を指定しています。

地　域	名　称	所在地
鎌倉	横浜国立大学教育学部附属鎌倉小・中学校	雪ノ下 3-5-10
	清泉小学校	雪ノ下 3-11-45
	鎌倉女学院中学校・高等学校	由比ガ浜 2-10-4
	鎌倉霊園	十二所 512

福祉避難所
一般の避難所で共同生活が困難な要配慮者が避難する施設です。

地　域	名　称	所在地
鎌倉	名越やすらぎセンター	材木座 2-15-3

防災関連機関一覧

機　関	名　称	所在地
警察署・交番・駐在所	鎌倉警察署	由比ガ浜 2-11-26
	浄明寺駐在所	二階堂 912-22
	名越交番	大町 4-4-5
	御成交番	御成町 18-23
	鎌倉駅前交番	小町 1-2-1
	滑川交番	由比ガ浜 4-1-1
消防署・消防出張所	鎌倉消防署	由比ガ浜 4-1-10
	鎌倉消防署 浄明寺出張所	浄明寺 6-2-7
救急告示医療機関	鎌倉ヒロ病院	材木座 1-7-22
	ふれあい鎌倉ホスピタル	御成町 9-5
	清川病院	小町 2-13-7